

医学系研究に関する情報公開について

西暦 2020年9月25日作成

下記の研究は、福岡リハビリテーション病院の医療倫理委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	慢性心不全患者のフレイル実態調査
当院の研究責任者 (所属)	池尻道玄(リハビリテーション部)
研究期間	病院長承認日 ~ 西暦 2023年 3月 31日
調査データの該当期間	病院長承認日 ~ 西暦 2023年 3月 31日
研究対象となる方	病院長承認日から西暦2022年3月31日の間に、リハビリテーション部で理学療法を受けた65歳以上の心不全の患者さんです。
研究の意義と目的	<p>近年、高齢心不全患者さんの再入院や予後に関わる要因としてフレイル(虚弱)が関連することが明らかになってきました。心不全で入院された後、身体機能がどの程度回復したか、を調査することは高齢心不全患者さんの予後の改善のためにも重要なデータとなります。日本心血管理学療法学会では、下記の3点を当面の目標とし、全国多施設で研究を実施いたします。</p> <p>(1)循環器理学療法を受ける心不全患者のフレイル有病率を明らかにする</p> <p>(2)入院前の身体機能まで回復しないまま退院する心不全患者の割合を明らかにする</p> <p>(3)高齢心不全患者の予後とその関連因子を調査する</p>
研究の方法	入院後、診療・治療上の検査・測定や問診によって得られた研究対象者の下記各種データを収集し、データ登録を行います。
研究に用いる試料・情報	<p>①患者さんの基本情報:年齢、性別、身体計測、介護保険認定、独居・支援</p> <p>②医学的情報:診断名、既往歴、心臓超音波検査(LVEF、LAD)、血液データ(血清 Cre、Alb、BUN、eGFR、CRP、Hb、Na、BNP)、治療方法、治療経過</p> <p>③理学療法評価:入院前の生活機能(厚生労働省「基本チェックリスト」)、入院中の身体機能評価(Short Physical Performance Battery、握</p>

	<p>力、通常歩行速度、上腕・下腿周径)、日常生活動作(Barthel Index、Functional Independence Measure)、フレイルの有無(日本版 Caediovascular Health Study Index)、理学療法の内容(実施期間、実施単位数、理学療法の内容)</p> <p>④予後・退院先:転帰先、死亡の有無と生存日数、死因、再入院・再発の有無と日時(心血管疾患およびその他の原因)、在院日数、外来理学療法の有無</p>
外部への試料・情報の提供	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報は、匿名化(どのデータが誰のものかをわからなくすること)をします。個人情報を厳重に保護し、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人が特定されない形式で行います。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は、日本理学療法士協会からの研究資金を受けて実施します。本件研究の責任者には開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	<p>福岡リハビリテーション病院 所属 <u>リハビリテーション部</u></p> <p>担当者: <u>池尻 道玄</u></p> <p>電話: 092-812-1555(代表) 対応可能時間 平日 9:00~17:00</p>